

BUSINESS REPORT

第73期報告書 2015年4月1日>>>2016年3月31日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



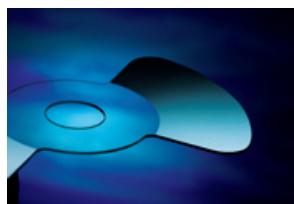
ミラーシステム事業

自動車用ドアミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。



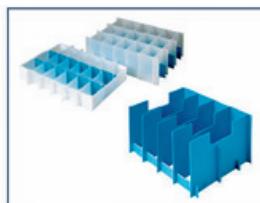
オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行っています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力に対応します。



その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開しています。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。



社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第73期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による成長戦略のもと、企業収益の向上に伴い、設備投資の増加や雇用環境の改善が見られたものの、個人消費が伸び悩んだこともあり、全体として景気回復は穏やかなものとなりました。また、世界経済は、中国の景気減速やアジア新興国の成長に鈍化が見られたものの、米国における雇用や個人消費の拡大、欧州経済の持ち直しなどにより、全体としては緩やかながら堅調に推移いたしました。

主要取引先であります自動車業界におきましては、軽自動車の生産台数の落ち込みなどにより、国内の自動車生産台数は前年に比べ減少いたしました。また、海外におきましては、米国・中国・欧州などでの需要拡大により世界の自動車生産台数は前年を上回ることとなりました。

このような状況下において当社グループは、グローバル市場での事業拡大に総力を挙げて取り組むとともに、生産性の向上、原価低減及び経費削減の活動を推進し、企業体質の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は65,683百万円となり、前連結会計年度に比べて1,028百万円（1.6%）の増加となりました。

また、経常利益は6,361百万円となり、前連結会計年度に比べて387百万円（5.7%）の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は4,072百万円となり、前連結会計年度に比

べて775百万円（16.0%）の減少となりました。

期末配当金につきましては、1株につき13円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき26円となります。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内においては、個人消費の持ち直しや企業収益の改善も見られるものの、年明けから進んだ急激な円高の影響による先行きの不透明感が強く、景気回復のペースは緩慢なものになると予想されます。また、世界経済においては、中国経済の景気減速やアジア新興国の成長減速が懸念される中、全体としては、緩やかではあるものの米国経済が牽引する形での景気拡大が持続することが予想されます。

このような中で、当社グループは、経営計画に基づいた諸施策を徹底且つ迅速に推進し、受注の確保と原価低減の推進により、売上高及び利益の確保に努めてまいります。

業績見通しにつきましては、売上高は65,000百万円、営業利益は5,900百万円、経常利益は6,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,200百万円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

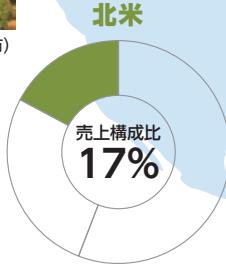
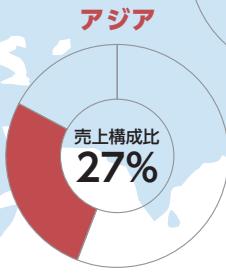
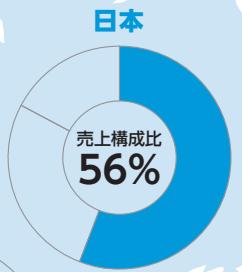


2016年6月

代表取締役社長 **村上太郎**

グローバルネットワーク

株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社エイジー
株式会社村上エキスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス



本社（静岡市）



藤枝工場（藤枝市）



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)



大井川工場（藤枝市）



築地工場（藤枝市）



嘉興村上汽車配件有限公司 (MIC)



MURAKAMI AMPAS (THAILAND) Co.,LTD. (MATCO)



Murakami Saikyu (Thailand) Co.,Ltd. (MST)

(注) Murakami Saikyu (Thailand) Co.,Ltd.は、2016年6月23日付にて、社名をMurakami Mold Engineering (Thailand) Co.,Ltd.に変更しております。



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)



Murakami Corporation (Thailand) Ltd. (MCT)



PT.Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V. (MMMEX)

日本

主力の自動車用バックミラーの販売数量は前年実績を下回ったものの、付加価値の高い製品の販売が増加した結果、売上高は36,890百万円となり、前連結会計年度に比べて1,581百万円(4.5%)の増加となりました。営業利益につきましては、減価償却費や欧州事務所運営費用の増加もあり2,840百万円と前連結会計年度に比べて120百万円(4.1%)の減少となりました。

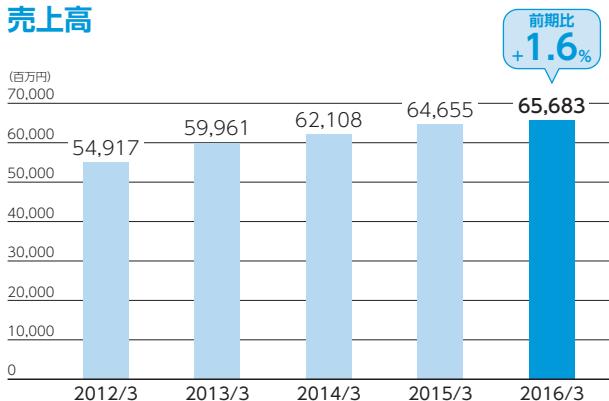
アジア

中国での自動車用バックミラーの販売数量が増加したものの、円高による為替換算上の影響により、売上高は17,483百万円となり、前連結会計年度に比べて516百万円(2.9%)の減少となりました。営業利益は、合理化諸施策の効果などにより2,347百万円となり、前連結会計年度に比べて655百万円(38.8%)の増加となりました。

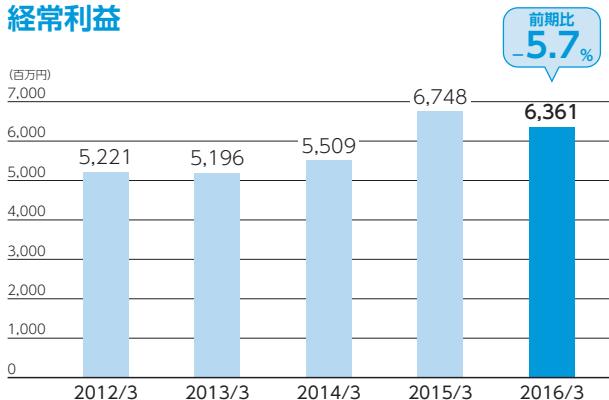
北米

売上高は11,309百万円となり、前連結会計年度に比べて36百万円(0.3%)の減少となりました。営業利益は当連結会計年度において米国で発生した港湾ストライキの影響やメキシコに設立した新会社での立上げ費用の増加などにより394百万円となり、前連結会計年度に比べて640百万円(61.9%)の減少となりました。

売上高



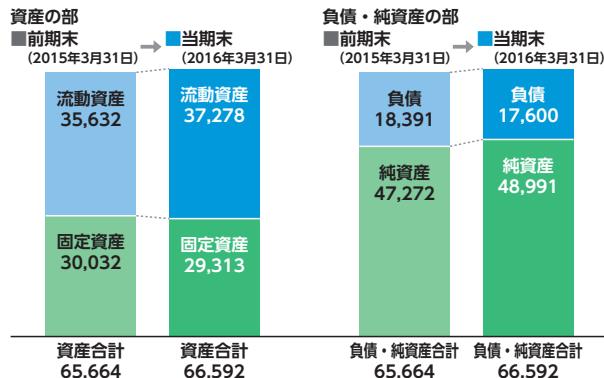
経常利益



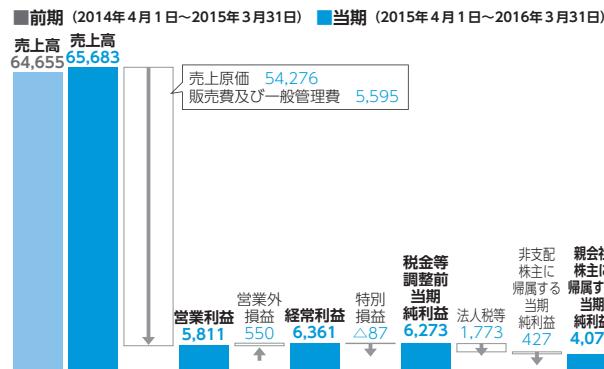
親会社株主に帰属する当期純利益



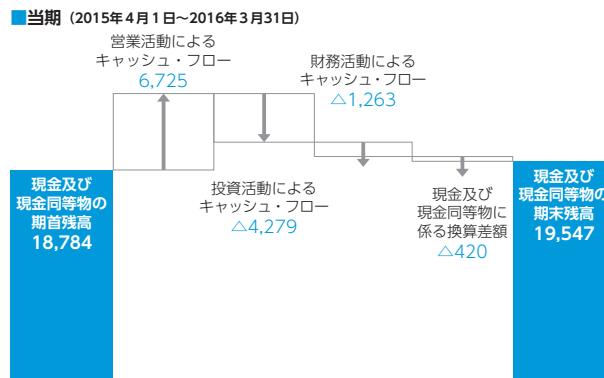
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 昭和23年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株
 事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造及び販売
 従業員数 連結：2,708名 単体：898名

役員 (2016年6月29日現在)

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 吉村 勝行
 常務取締役 奥野 雅二
 取締役相談役 村上 英治
 取締役 望月 義人
 取締役 沖本 美敏
 ※取締役 岩崎 清悟

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

執行役員

常務執行役員 長谷川 猛
 常務執行役員 マイケル ローデンバーグ
 常務執行役員 辻村 春樹
 執行役員 菊地 俊明
 執行役員 村松 規行
 執行役員 糟谷 篤
 執行役員 前田 健太
 執行役員 松田 裕昭

主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市
 工場：藤枝工場 (静岡県藤枝市)
 大井川工場 (静岡県藤枝市)
 築地工場 (静岡県藤枝市)

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社エージー
 株式会社村上エキスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 石橋 三透

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.
 Murakami Saikyu(Thailand)Co.,Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.

(注) Murakami Saikyu (Thailand) Co.,Ltd.は、2016年6月23日付にて、社名をMurakami Mold Engineering (Thailand) Co.,Ltd.に変更しております。

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 761名

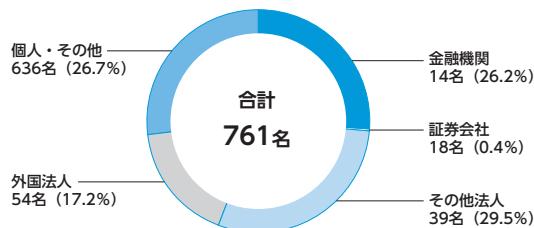
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	14.3
村上太郎	1,044	8.0
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	820	6.3
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.1
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカUNT ジエイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	401	3.1

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式173,559株を控除して計算しております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

